

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号

〒660 TEL(06)6411-6852番

-0092 FAX(06)6411-6241番

神奈川営業所 横浜市中区山下町194

外丸ビル9F

〒231 TEL(045)663-3611番

-0023 FAX(045)663-2770番

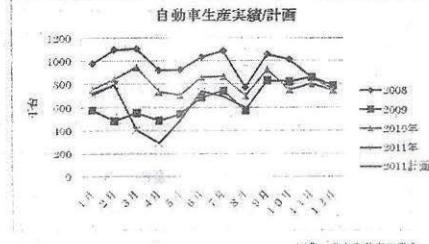
日刊メタルレポート

◆自動車生産台数		
3月	4月	5月
40万4039台	29万2001台	48万9723台
前月比	-49.2%	-27.8%
昨年対比	-57.3%	-60.1%
		-30.9%

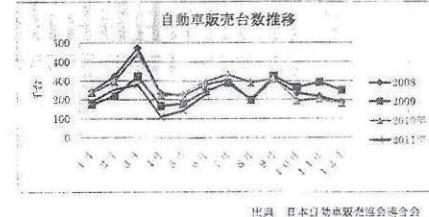
◆自動車販売台数		
4月	5月	6月
10万8824台	14万2154台	22万5024台
前月比	-60.9%	-30.6%
昨年対比	-51%	-37.8%
		-23.3%

◆生産計画台数		
6月	7月	8月
73万8600台	69万3100台	69万6000台
前月比	減少のため未発表	-6.1% -11%

自動車生産台数推移



自動車販売台数推移



発行所
株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836

購読料 半カ月44,100円(前納) 3カ月22,050円



橋本健一郎氏

輸出銅スクラップが二三二%減

輸入電気銅が引き続き大幅増

・橋本金属橋本健一郎氏リポート①

【概況】六月前半は、米ケースシラー指数、ISM指数、雇用統計などの一連の米経済指標の悪化。また、FRBバークナント議長コメントの「米経済はいらいらするほど緩慢」を受けて九、〇〇〇ドルを切る場面もあったが、米財政赤字の過去最大の輸出増加による大幅縮小や、五月の銅スクラップ輸入量が

三%増と大幅上昇したことなどをプラス材料と受け取り、九、〇一〇ドル(セツル)と九、〇〇〇ドルを回復しての前半締めとなつた。

後半は、欧州、中国のPMI指数下落やIEAによる石油備蓄放出と、モデルティ全般に於てはマイナス要因があつたものの、独メルケル首相と中国温家宝首相会談での中国のギリシャ救済に向けて発言、EU IMFの融資を受けたための法案可決を受け一気にギリシャ懸念が後退。七月四日現在で九、四〇五ドル(セツル)、建値八〇万円のスタートとなつた。

【前月の経済指標】

◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比六七・七%増の四八万九、七三三台であつた。

◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比五〇・三%増の二二万五、〇二四台。

◆三ヶ月間の自動車生産計画は昨年対比二六・二%増の二〇二万八、〇〇〇台。

カム一足元の在庫多く当面買い控えか

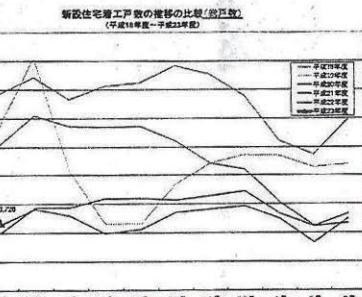
相海外銅 場ド ル安など背景に堅調へ
六三九t。

◆新設住宅着工戸数
国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比二・一%増(昨年比六・四%増)の六万七二六戸であった。

(一面より続く)

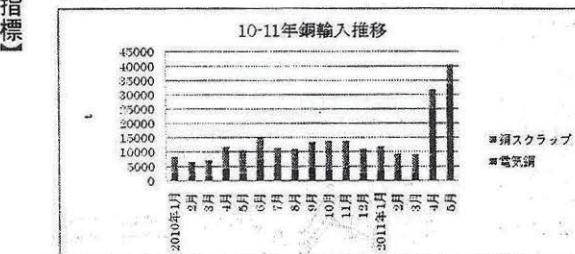
◆新設住宅着工戸数
日本新設住宅着工戸数

	3月	4月	5月
日本新設住宅着工戸数	6万3419戸	6万6757戸	6万3726戸
季節調整 前月比	+7.5%	-1.1%	+2.1%
年率対比	-2.4%	+0.3%	-6.4%
新設住宅着工戸数推移			



出典 国土交通省 総計

	3月	4月	5月
輸入			
電気銅	2686t	2万5131t	3万3737t
前月比	-20.2%	+835.6%	+34.2%
スクラップ	6552t	6752t	6639t
前月比	+10.7%	+3.1%	-1.7%
輸入推移			

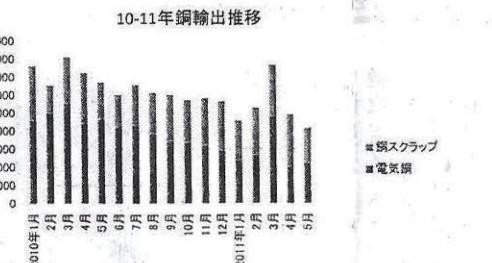


出典 財務省 貿易統計

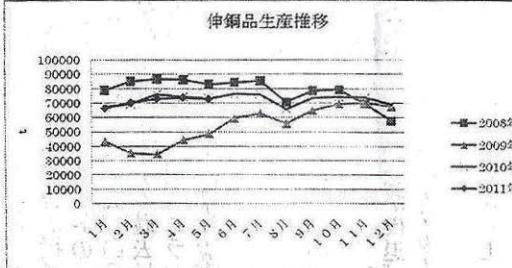
◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が一〇・二%増の二万一、九八四t、スクラップが三一・八%減の一萬九、四九四t。

◆貿易関連指標

電気銅が一〇・二%増の二万一、九八四t、スクラップが三一・八%減の一萬九、四九四t。



出典 日本銅業会



出典 日本伸銅協会

◆貿易関連指標
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比一・七%減の七万二、六九t(昨年対比〇・一%増)。

◆前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)

輸入は電気銅が前月比三四・一%増の三万七三七t。スクラップが一・七%減の六、

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比八・九%減の五万一、二〇〇tであった(昨年対比三%増)。

(六面に続く)

(二面より続く)

車生産回復に伴う内需復活から銅スクラップ輸出が前月比三三・三%減の一・九万t台の大幅減少。

輸入に関しては、震災から三ヶ月ぶりに自動車生産計画が発表されるなど日々、日本経済の復興が堅調に現れ、また自動車生産・販売ともそれぞれ前月比で五〇・六七%増と需要供給共に堅調に復活している。それに伴い早期生産回復にあつた伸銅品、黄銅棒共にいままで以上の仮設・復興需要が期待されるが、四、五月ともに昨年比一二倍程度の電気銅が緊急輸入されており、メーカー足元在庫は厚く、少なくとも七月中は買い控えが続く。

銅価格に関しては、ギリシャ懸念は一旦先送りされ欧州懸念は後退した。今後は米中の経済指標次第だが暫くは強弱の指標が続く。ただ、中国に関しては当局が金融引締めに關注して効果があつたとの表現を用いた事から、引締め懸念が後退しているとの見方や、八月の米連邦債務上限引き上げ問題を巡る与野党での食い違いから米国債見通し格下げ観測が浮上しており、これを背景としたドル安を受けLME価格で八、七〇〇~九、七〇〇ドル。銅建値に関しては銅建値で七四~八二万円程度と予測している。

【見通し】

急激な生産回復を感じとれる月となつた。壊滅的な影響を受けた自動車生産は前月比六七・七%増の四八万九千台と急回復、前年比も三〇%減と前月の六〇%減から大幅改善した。国内自動車販売も二三万五千台で前月比五〇%増と大幅改善! こちらも前年比二三%減と、前月の六〇%減から大幅改善した。

復興需要品種が多い(エアコン・バイブ、ガス、水回り系)伸銅品生産量は前月比一・七%減の七万三千tで昨年対比〇・一%増とほぼ回復、今後の復興需要に期待。

同様に銅電線出荷量は前月比九%減の五万一千tだが、昨年対比三%増とこちらも上昇した。

新設住宅着工数は季節調整前月比二・一%

現行の稳健な金融政策を維持

成長鈍化の懸念も—中国人民銀

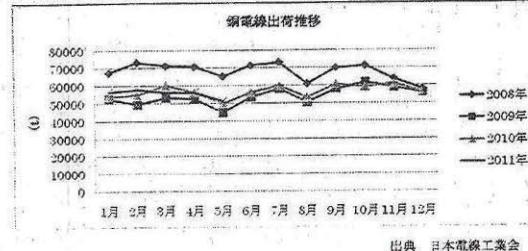
一方 穏健な金融政策を維持する際の「安定性」と「柔軟性」の重要性も強調し、成長

中国人民銀行(中央銀行)は四日、インフレ圧力が依然高まっていることから、現行の「穩健な」金融政策を維持する方針を示した。

第2四半期の金融政策委員会の会合後に声明を発表した。ただ穩健な金融政策の「安定性」の重要性を強調し、成長鈍化に対する懸念も示唆した。

人民銀行は声明で「中国経済は安定的で比較的速いペースで成長を続けている。ただしインフレ圧力は依然として高い」とし、流動性を制御し全般的な通貨供給量を適切な水準に維持するため、多様な手段を用いるとの姿勢を示した。

人民銀行は人民元相場については、基本的に安定的に維持する意向を示した。また、世界経済の見通しについては、緩やかに改善しているものの依然として多くのリスクに直面しているとし、慎重な見方を示した。



出典：日本電線工業会

幅改善。
輸出に関しては復興需要の仮設住宅や自動車生産回復に伴う内需復活から銅スクラップ輸出が前月比三三・三%減の一・九万t台の大幅減少。

輸入に関しては前月に続き、小名浜・日立両精錬所の生産障害(月約三万t)から緊急輸入により前月比三四・二%増、昨年比一二三%の三万三、七三七tと大幅増となつた。

銅需給に関しては、震災から三ヶ月ぶりに自動車生産計画が発表されるなど日々、日本経済の復興が堅調に現れ、また自動車生産・販売ともそれぞれ前月比で五〇・六七%増と需要供給共に堅調に復活している。それに伴い早期生産回復にあつた伸銅品、黄銅棒共にいままで以上の仮設・復興需要が期待されるが、四、五月ともに昨年比一二倍程度の電気銅が緊急輸入されており、メーカー足元在庫は厚く、少なくとも七月中は買い控えが続く。